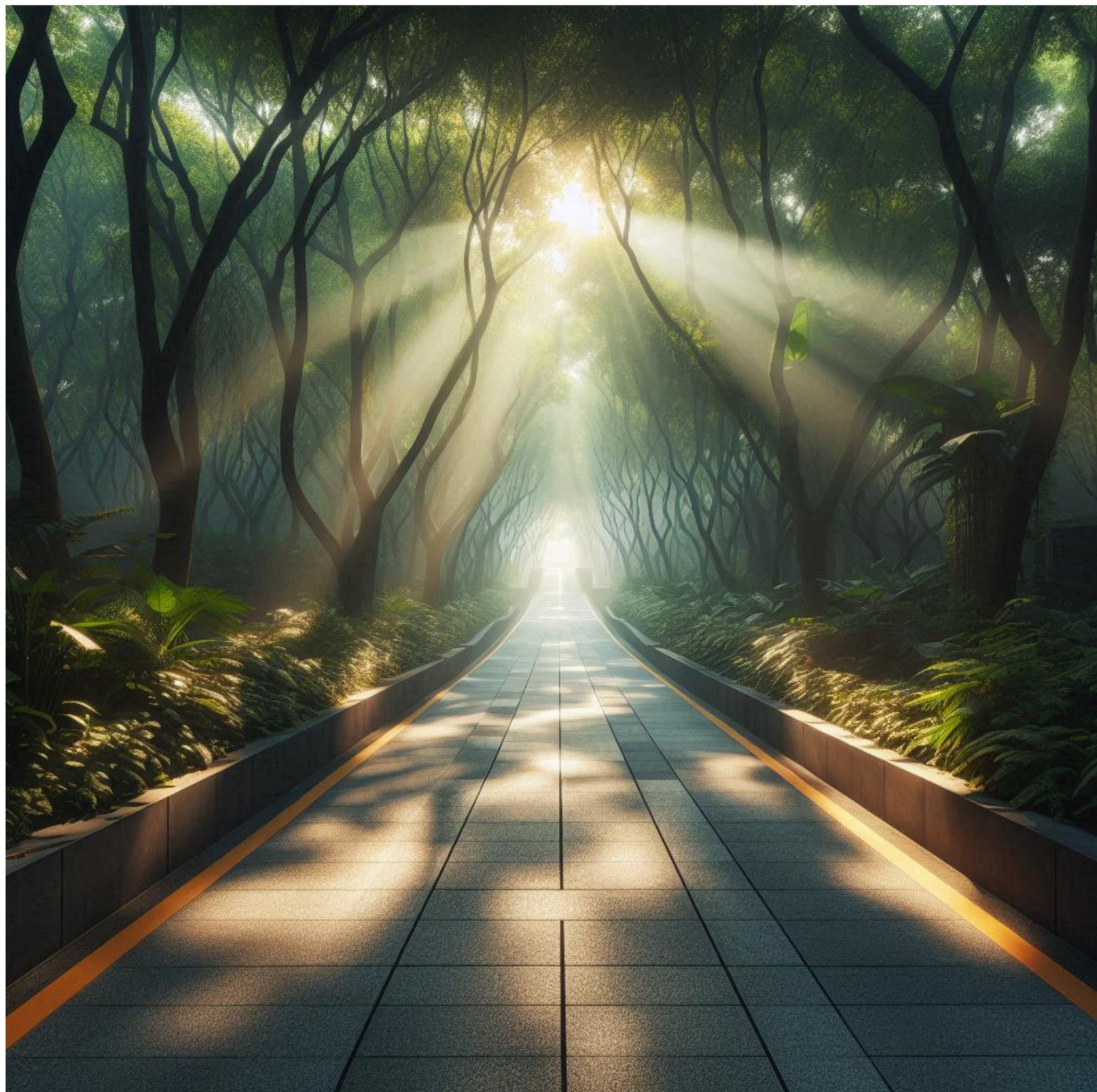


修学旅行で訪れた際、階段を登りきる直前に見えた金刀比羅宮が忘れられません。  
木漏れ日が当たり、階段を登り切ったという達成感もあり、とても神々しかったのを覚えています。  
この時の衝撃を仮に、「神成（じんせい）」と名付けました。



# 神成（じんせい）

## コンセプト

木漏れ日で神様になったかのような道

階段を登っている終盤、見えてきた金刀比羅宮に木漏れ日が差し込み、神々しい様子が見られます。

## デザイン

石畳の道の両側に木々を設置し、木漏れ日によって神様になったかのような「和」を強調します。

## 効果

金刀比羅宮に登った時に感じられる神々しさを自身が体感でき、神様からの贈り物がきたというのを味わえます。

## 場所

金刀比羅宮への道中